



富士特だより

【めざす学校像】

児童生徒一人一人の自立を育てる

笑顔あふれる学校

富士見市立富士見特別支援学校

令和4年1月11日(火)第10号

明けましておめでとうございます

保護者地域の皆様におかれましては、よいお年をお迎えいただいたこととお喜び申し上げます。年末年始から例年になく寒波が襲来し、我が家の庭先のバケツの水も何年かぶりに凍り、まさに厳冬でありました。冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力にあふれ、華々しい年になるとの教えがあります。春の芽吹きまでじっとエネルギーを内にこめ、内部の充実を心がけるとよい年になるのだそうです。本校に関わるすべての方々にとって2022年がよい年になることを年の始めに願いました。

始業式の今日、教職員全員が元気に登校する子どもたちに会えることを楽しみに迎えました。今年寅年。いただいた年賀状には様々な寅が描かれていて目を楽しませてくれました。寅(虎)は、柔軟で強く、気高く、たくましい、才知と決断力の象徴です。そこで、学部別の始業式では、

とってもいい年になりますように！
ラストまで全力を出しましょう！
どんなことがあってもくじけずに！
しょうらい(将来)の自分を応援しましょう！

寅年



と結びました。

笑顔があふれた運動会、感動と自信にあふれたふじみっこ祭りなど、1、2学期は、多くの行事や取り組みが再開され、子どもたちの素晴らしい姿や成長をたくさん見つけることができました。3学期は1年のまとめの学期になります。1、2学期で培った力を大いに発揮し、未来の自分づくりに向けチャレンジして欲しいと思います。

教育現場では、3学期のあまりにあわただしく過ぎ去ってしまう速さを「1行く、2逃げる、3去る」と例えます。子どもたちとじっくり向き合い、まとめと締めくくりの学期として充実させるため、教職員一同、気持ちを引き締めて頑張っています。

教職員も子どもたちと共に成長を目指します

保護者の皆様には、学校評価アンケートにご協力いただきましたことを心より感謝申し上げます。いただいたご指摘やご意見を真摯に受け止めて、来年度の学校運営方針を考え、具体的な改善策をお伝えすると共に、教職員一丸となり子どもたちの自立と社会参加を図ってまいります。私たち教職員は、教育や様々な分野のプロですが、完璧ではありません。経験浅い若手やミドル世代は当然学ばなければならないことがたくさんあります。ベテランも、昨日より今日、今日より明日と常に高みを目指して学び続けなければなりませんし、若手を育てることも重要な役目です。完璧と思ったところで成長は止まりますし、良い仕事は組織全体の協働がなければ成しえません。子どもたちは、教師から丁寧な、時には厳しい指導支援を受けて成長することもあります。子ども同士の学び合いの中でも大きく成長します。今年、こうした機会を今まで以上に意図的に設定し、仲間同士のよりよい学び合いと関わり合いを通して一人一人を成長させることを大切に授業の充実を図りたいと考えています。

未知のオミクロンの脅威がすぐそこまで迫ってきています。子どもたちの学びを止めないように引き続き一層の感染対策を講じてまいります。

今年も、保護者や地域の皆様の変わらぬご支援とご理解、ご協力を宜しくお願いいたします。

校長 阿部 和彦